

# 図書館の窓から

浜田高校図書館  
R3.5.20 発行  
1-1・2 合併号



今年の桜は入学式を待たずに散ってしまい、ゴールデンウィークが終わったとたん、もう梅雨入りです。そうすると梅雨明けも早いのかというと、そういうわけでもないようだと言った新聞の社説に載っていました。そんなじめじめした気分も、本を読めばどこかへ行ってしまわず！浜高図書館では、たくさん本を用意してみなさんをお待ちしています。

## 図書・研究部のメンバーよりご挨拶

今年度はこの7名で図書館運営&研究活動を行います。

そして各クラスの図書委員は、生徒の皆さんと図書館とをつなぐ大切なスタッフです。

1年間どうぞよろしくお願いいたします。

### 部長 豊田 努 (地歴・公民科/2-1 副担任/歴史・社研部 @大職員室)

大学生だったある日、電車のホームで本を読み始め、その内容に引き込まれて気がついたら半日がたったことがあります。以後その本の著者は私の生き方の師となり、著書を読みあさることで、自分の生き方の芯ができました。よい出会いは待っているだけでは訪れません。スマホを本に持ち替えて、新たな世界をのぞいてみましょう。

### 副部長 廣田 泰之 (理科/2-6 副担任 @化学準備室)

自分の高校時代はインターネットもアマゾンもなかったもので、本を買える場所は地元の小さな本屋だけでした。学校の図書館にも興味深い本はみつからない時代でした。多様な本を読み始めたのは、都市部の大学に進学してからになります。東京都内には1階から10階まですべて本という店もいくつかあり、多様な本に出会うことができました。今はどこにいてもインターネットで本の購入ができます。ありがたい世の中になったなと感謝しています。仕事については通勤時間が長くなったのでオーディオブックで読んで(聞いて)います。毎日片道1時間の車内で多様な本を読む(聞ける)ので、一週間で1~2冊程度は読むことができます。JR通学やバス通学の皆さんにはお勧めです。

### 福満 晋 (理科/3-6 副担任 @化学準備室)

模試や入試の問題を解くためには、まず問題文をよく読んでどのような内容の解答が求められているかを理解することが必要です。国語力や読解力は国語だけでなく、理科も地歴も英語も数学の問題を解くためにも大切です。特に昨年度からはじまった大学入試「共通テスト」ではどの教科も長い文章の問題文が見られるようになりました。読解力や国語力を鍛えるためには読書量が必要です。そしてなにより質より量です。とにかく読書量が勝負です。国語の先生や図書の先生は怒るかもしれませんが、読みやすいライトノベルで充分ですので読書量を増やして見てください。

### 岩井 大輔 (数学科/2-2 副担任/弓道部 @大職員室)

私自身、活字に疎く、朝読書週間以外で読む機会などほとんどありません。それでも、年に数冊は本屋で購入して読むようになりました。最初は何を読めばいいか分かりませんでした。が、店員さんに聞くと、最近売れている有名な本(芥川賞作家や本屋大賞の作品など)を紹介され、そこから少しですが本に親しむようになりました。やはり選ばれた本には理由があるのだと実感しました。みなさんは近くに図書館という素敵な環境があります。是非、この春から図書館デビューしてみましょう。

### 青山 皓輝 (英語科/1-3 副担任/男子テニス部 @大職員室)

高校三年生の受験が終わって自由登校をしていた頃。暇だったので図書室に行き、司書の先生に「なんでもいいからおもしろい本を教えてください」と頼み、色々な本を教してもらって読みあさっていました。その時に読んだ1冊の本が今でも自分の生き方や考え方に響いています。案外人生や自分を変えるヒントはそこらへんにあるものかもしれません。

### 松浦 聡子 (家庭科/生活科学部 @図書準備室)

中学時代の恩師から教員の道に進んでから再びお会いし、絵本を頂きました。頂いた『フレデリック ちょっとかわったねずみのはなし』を紹介します。

色々な解釈があると思いますが・・・他人と違う考えや他人と違うものの見方で考えたりすることは一見すると間違いかも、悪いことかもと思えることがあるかもしれません。私はフレデリックから、自分の信念を信じて全うすることの大切さを教してもらいました。歴史に名を残した人たちは「あの人は変わっている？」と思われていたかもしれません。しかし他人と違う見方をしていたからこそ偉人になったのではないのでしょうか。

皆さんは可能性に溢れ、柔軟な頭を持っています。自分の考えを決して無くしてしまわず、自分の価値観を大切にしてください。

### 松野 香奈子 (学校司書 @図書準備室)

現実世界のすべてを忘れて本の世界に没頭する。すると頭が一度リセットされて、今までの悩みがどうしてもよく思えたり、もう一度頑張ってみようという気持ちになったりします。こんな風になるのは私だけかもしれませんが、みなさんもちよとした気分転換やほっと一息つきたいとき、本を手にとってみてください。図書館でお待ちしています！

# 新着図書案内

数字…本の背ラベルにある分類番号

♪ …リクエストされた本

✿ …寄贈していただいた本

## 【島根に関する本】

**094.5『島根半島宍道湖中海ジオパーク』** 島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会/監修 ハーベスト出版

★中国山地と日本海、宍道湖・中海という他に例を見ない環境が独自の文化を育む、松江・出雲。ジオサイト、ウォーキングやサイクリングコース、旅のモデルプラン、ジオサイト MAPなどを収録する。

**\*094.5『だから研究はやめられない』** 杜里洋夫/著 文芸社

★同じ人生を歩むなら、潤いがあり、充実した楽しさを味わえ、日本の将来を担う、科学者としての人生を子供達に送らせよう。野菜作りから北極観測までの実験裏話を綴る。

## 【紀行】

**292『おがっちの韓国さらん本』**

おがっち/著 ハーベスト出版

★韓国とともに泣いて、笑った18年。今、本当の韓国を伝えたい。韓国通のフリーアナウンサー・おがっちが、写真とともに綴る「韓流論」。韓国エンタメの魅力も徹底解説する。

## 【教育】

**376『国際学部』**

三井綾子/著 ペリかん社

★国際学部をめざす人のための学部案内。国際学部で学ぶことやキャンパスライフ、卒業後の進路などを、実際の取材をもとに、わかりやすく説明する。教員・学生・卒業生インタビューも収録。

**377『大学生のための教科書』** 大学生のための教科書編集委員会/編著 東京書籍

★自分のやりたいこと、自分のやることを自分で決められる「準大人」になるために必要なことを習得できるテキスト。先輩たちの実例や体験談、ワークシートの作成を通して社会に出てからの具体的なキャリアイメージを形成できる。

## 【自然科学】

**407『科学者になりたい君へ』**

佐藤勝彦/著 河出書房新社

★どうすれば科学者になれるのか? 「インフレーション理論」を提唱した宇宙物理学者・佐藤勝彦が、自身の科学者人生を紹介しつつ、「科学とはどういうものか」「優れた科学者になるためには何をしたらよいか」などを語る。

## 【医療】

**7495『生理ちゃん』1~4巻**

小山健/著 KADOKAWA

★「大変なのを生理のせいにはできないから大変なんです」悩める女性たちの元にも、ツキイチで生理ちゃんはやってくる。イタイ、ツライ、メンドクサイを吹き飛ばすほど、笑って泣けちゃう大傑作!



## 【環境問題】

**519『地球温暖化を解決したい』**

小西雅子/著 岩波書店

★温暖化を解決するカギはエネルギー。気温上昇を抑えるために、どのエネルギーをどのように使うかを考えることが重要です。水力、風力、太陽光、石油、石炭など、それぞれのエネルギーの長所と短所を解説します。

## 【SNS】

**547『ひとりの時間が僕を救う』**

パーカー/著 KADOKAWA

★本当に大事なことや、大切な人に出会うために、僕は「ひとりの時間」を選んだ。人見知りやコミュ障なぼっち大学生が、隠したい過去やコンプレックスとともに、些細で可笑しい日常と哲学を綴る。

## 【日本文学】

**910『平安女子は、みんな必死で恋してた』** イザベラ・ディオニシオ/著 淡交社

★女性が自立できなかった平安時代、「言葉」と「教養」を武器に自分らしく生き抜いた女性たちがいた。イタリア人の古典愛好家が、働く現代女性の視点から日本の古典文学を読みとく。

## 【日本の小説】

**913『正欲』** 朝井リョウ/著 新潮社

★生き延びるために、手を組みませんか。いびつで孤独な魂が奇跡のように巡り遭い…。共感を呼ぶ傑作か? 目を背けたくなる問題作か? 朝井リョウの作家生活10周年を記念した書下ろし長篇小説。

**913『白鳥とコウモリ』**

東野圭吾/著 幻冬舎

★竹芝橋近くの路上に違法駐車されていたセダンの後部座席から、男性の遺体が発見された。運転免許証と名刺から、弁護士であることが判明し…。

**913『52 ヘルツのクジラたち』**

町田そのこ/著 中央公論新社

★自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴瑚と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれた少年。孤独ゆえ愛を欲し、裏切られてきた彼らが出会う時、新たな魂の物語が生まれる。

# 【予告】朝読書週間

## ～本 de HIRAKU～ 開催!

浜田高校では各学期に1回、朝読書週間を設けています。

1学期の朝読書週間は、以下の日程で行います。

📖 **朝読書を行う日： 5/24(月)～6/2(火) 7日間**

📖 **朝読書の時間： 8:30～8:40 (10分間)**

>> 通常の完全登校時間からスタートです。遅れないよう登校しましょう!

📖 **読む本： 何でもOK!**

>> ただし「マンガ」「雑誌」「教科書」「参考書」は除きます。読み物を選びましょう!

## 5/24(月)までに読む本を各自で用意してください。

本を用意できなかった人のために、各教室に学級文庫を貸出しています。

ただし、冊数に限りがありますので、あくまでこれは「本を忘れた人のためのもの」。

自分が読む本を自分で選ぶところから「本 de HIRAKU」のスタートだと思ってください。

## 学級文庫の本を読むときに、気をつけてほしいこと!

①学級文庫の入っているカゴの周辺に**大勢で押しかけない**。(密集を避けましょう)

②朝礼が終わったら**手を洗う**。

③ **カゴに本を戻す**。(続きが読みたい人も、毎日本を戻してください)

↑①②は**感染症予防**のため、③は**本の紛失防止**のためです。ご協力をお願いします!

## 【外国の文学】

**933『兄の名は、ジェシカ』**

ジョン・ボイン/著 あすなろ書房

★4歳年上のジェイソンは、サムの子の自慢の兄。ただこのごろ、少し様子が変わったみたいだ。一人の子どもがジェンダーや性的指向という問題にどう向き合っているのかを、わかりやすく、誠実に、時にコミカルに描く。

## ★シリーズ続編入りしました★

**430『亜澄錬太郎の事件簿 7』**

齋藤勝裕/著 シーアンドアール研究所

**726『キングダム 61』**

原泰久/著 集英社

**913『掟上今日子の鑑札票』**

西尾維新/著 講談社

**913『薬屋のひとりごと 11』**

日向夏/著 主婦の友インフォス

